

個人投資家向けオンライン会社説明会



コスモ・バイオ株式会社

(証券コード：3386)

2020.12.12

www.cosmobio.com



はじめに・・・

コスモ・バイオと聞いてどういうイメージを持ちますか？

バイオの研究して
いるんでしょ

コスモって、
石油の？

何の薬を開発して
いるのかな

ノーベル賞銘柄だよ

バイオなのに
配当している

全然聞いたことない
会社

バイオベンチャー

安定した良い会社

はじめに・・・コスモ・バイオとは

ライフサイエンス研究にかかわる試薬や機器、
サービスを提供する事業をしています。
実際に手を動かす（研究をする）仕事ではありませんが、
『**ライフサイエンスに、研究を
「支える立場として」かかわりたい**』
そんな人材がコスモ・バイオには集まっています。

経営理念

1. **ライフサイエンスの進歩・発展に貢献する**
2. お客様に役立ち、信頼される
3. 従業員を大切にする

本日の内容

- ①
 - ✓ コスモ・バイオは、今年で設立37年の
バイオ（ライフサイエンス）の専門商社です
 - ✓ **研究用の試薬・機器**などを販売しています
 - ✓ お客様は、大学や公的研究機関、製薬企業等の研究者です
 - ✓ 輸入商品が売上の多くを占め、**円高だと利益に貢献**します
- ②
 - ✓ 2006年からは、試薬の自社製造も開始しました
 - ✓ 2016年からは、試薬以外の新規分野にも挑戦しています
- ③
 - ✓ 商社を軸に、新規事業開拓に取り組んでいます
- ④
 - ✓ 会社設立以来、赤字になったことはありません
 - ✓ 上場来、**毎年配当**しています（株主優待はありません）

本日の内容

- ✓ コスモ・バイオは、今年で設立37年の
バイオ（ライフサイエンス）の専門商社です
- ✓ **研究用の試薬** 主力の「商社事業」について
- ✓ お客様は、大企業等の研究者です
- ✓ 輸入商品が売上の多くを占め、**円高だと利益に貢献**します

①

- ✓ 2006年からは「メーカー機能」について
- ✓ 2016年からは

②

- ✓ 商社を軸に、成長戦略について

③

- ✓ 会社設立以来、業績・配当について
- ✓ 上場来、毎年配当（ありません）

④

社名： コスモ・バイオ株式会社

本社所在地： 東京都江東区東陽二丁目2番20号

代表者： 代表取締役社長 櫻井 治久

設立： 1983年8月25日

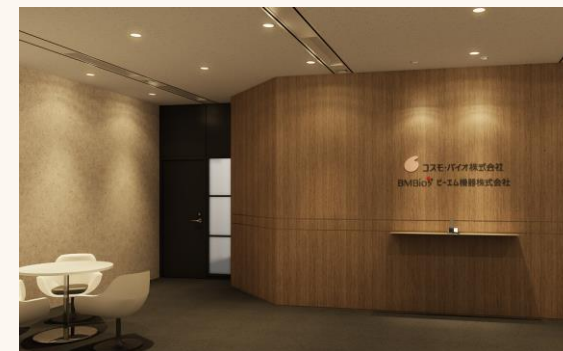
事業内容： ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、
臨床検査薬の仕入（一部自社製造）及び国内・海外販売

従業員数： 連結：135名 個別：105名
(2020年9月30日時点)

連結子会社： ビーエム機器株式会社

COSMO BIO USA, INC.

非連結子会社： 株式会社プロテインテック・ジャパン



コスモ・バイオの沿革

1983年

丸善石油（現 コスモ石油）の子会社として設立

2000年

コスモ石油から独立

商社事業の
始まり

2005年

ジャスダック市場に上場

2006年

(株) プライマリーセルを子会社化

メーカー
機能の獲得

2017年

札幌事業所を開設

何を誰に売っている商社ですか？

何を：

ライフサイエンス研究に使われる「試薬」や「機器・器材・消耗品」、試験を請け負う受託サービスなど



試薬って、なに？

誰に：

教育機関（大学等）、公的研究機関、企業
など

これらの研究機関で、基礎研究を行う研究室の研究者が主な顧客

－ 試薬とは －

実験・研究・測定のために使われる薬剤

化学物質や、生物の体内から取り出した成分
(タンパク質や細胞、核酸等)、それを反応させるための
溶液など



なかでも・・・**ライフサイエンス用（生化学用）試薬**は、
・生物から抽出したもの、あるいはその物質を合成したもの。
・数10マイクログラムなど、目に見えないくらい少量で提供される。
(体内を模した実験をするにあたり、そのくらいの量で充分足りる)

《試薬の分類イメージ》



－ 機器・器材・消耗品とは －

研究用機器とは？

PCR装置をはじめとするさまざまな
化学物質・生体成分等を測定する機器

器材・消耗品とは？

液体を分注するためのピペットや、
液体を混合するための道具、
実験で使い捨てで使用する実験用
手袋、プレート、チップなど

マイクロウェルプレート



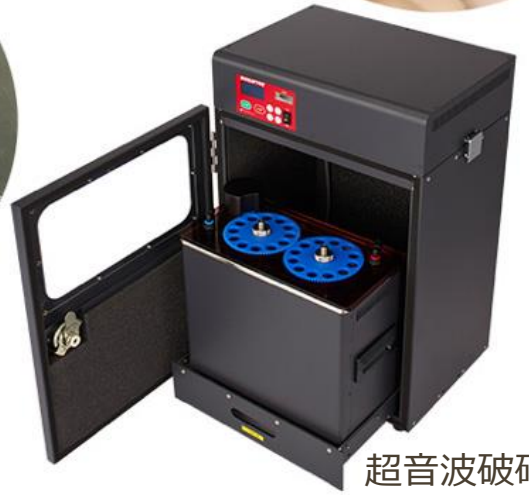
チューブ



チューブ、
保温ブロック



ピペット、
チップ



超音波破碎装置

商品分類別の売上構成（連結ベース）

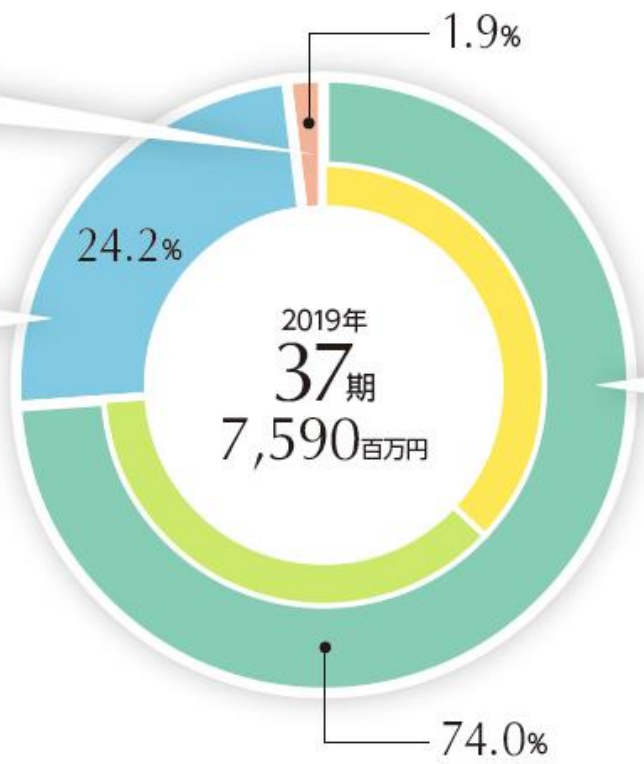
商品分類別連結売上高

臨床検査薬 140百万円

機器 1,836百万円



アルミブロック保温装置 HIENAI



研究用試薬 5,613百万円

汎用試薬
バイアル単位で販売



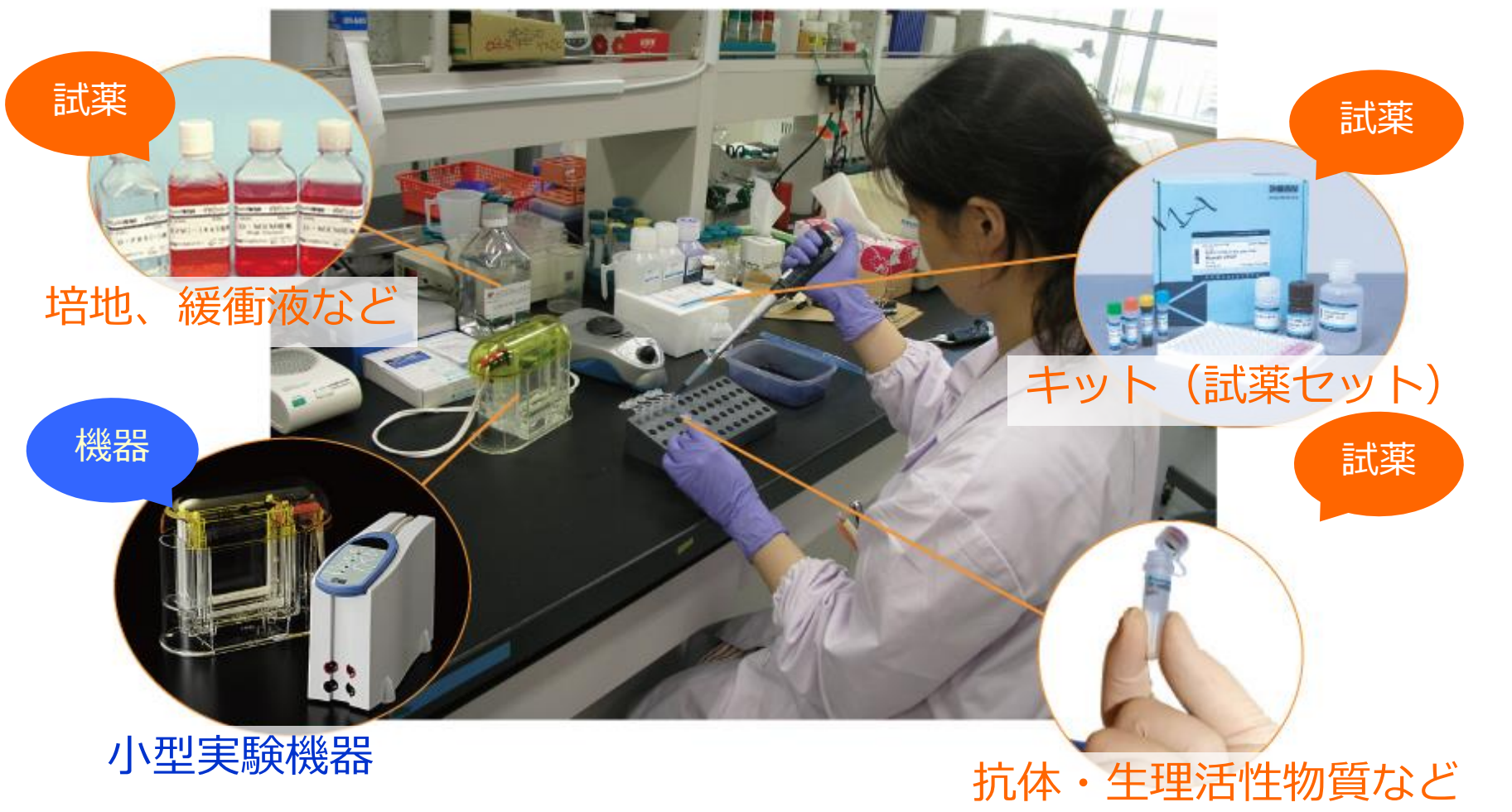
応用試薬
用途に合わせて試薬等をセットにしたもの

創業支援・
受託サービス



**研究用試薬の売上が7割強、
機器（器材・消耗品含む）の売上が3割弱の比率**

試薬・機器が使われている様子



試薬

試薬

培地、緩衝液など

キット (試薬セット)

機器

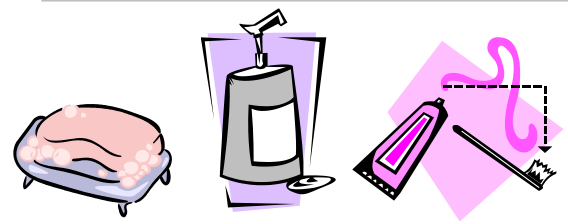
試薬

小型実験機器

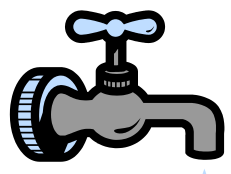
抗体・生理活性物質など

試薬はどんなふうに世の中に役立っているの？

実際のみなさんの生活には直接関わりがないように思われますが、**試薬**は身の回りのさまざまなものの開発・発明や品質管理に使用され、まさに生命を支える高い使命・大きな責任を担っています。



歯磨き粉や石鹸の開発



水道水の水質管理



次々に発売される
おいしい食品の開発



家電製品等の改良

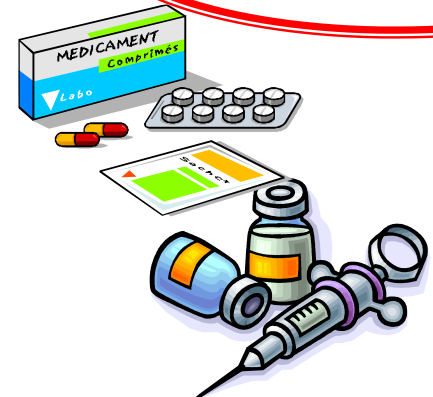


食材の安全性検査

すべてに試薬が
関わっています



液晶画面の開発



医薬品開発や検査薬



新素材の開発

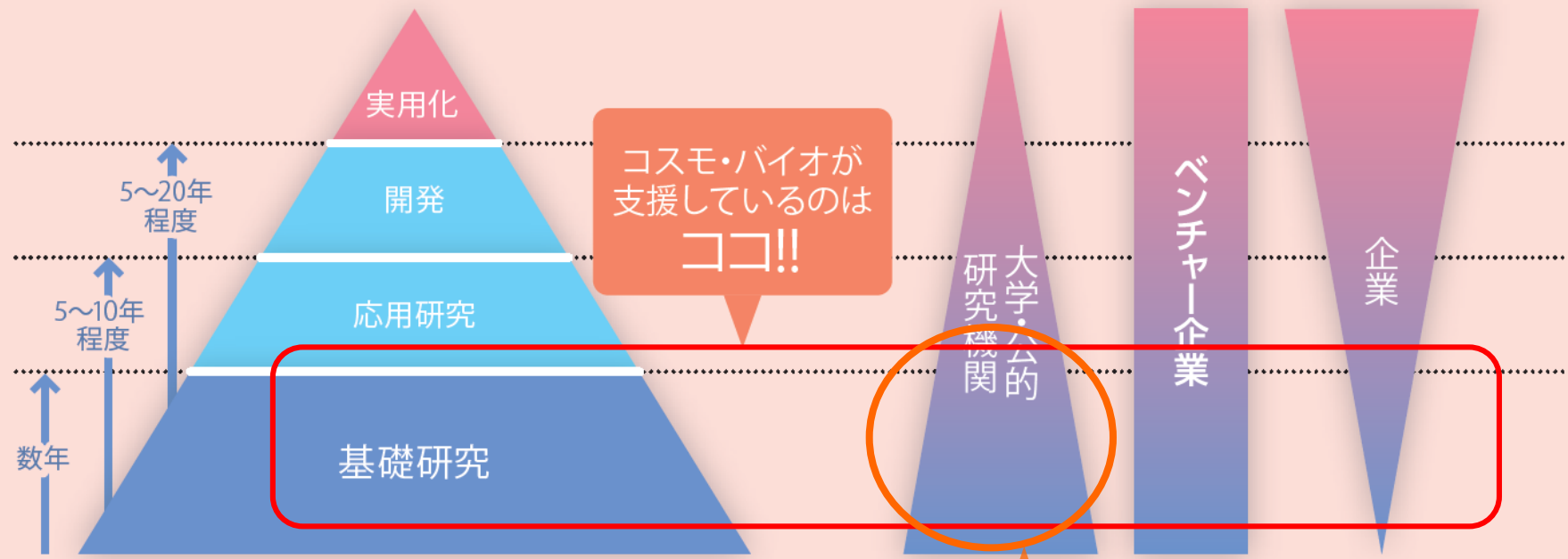


柔らかくて暖かい布団

ライフサイエンス研究とユーザー層

➤ 研究ステップ

➤ 各研究ステップの研究機関（ユーザー層）



ライフサイエンスの技術が実用化されるまでにはとても長い年月がかかっています。
 コスモ・バイオは、その研究の第一歩である、
「基礎研究」を行う研究者向けに、研究用試薬や機器を販売しています。

研究費用は
政府予算が中心



圧倒的な品揃え ～コスモ・バイオの“頼りがい”の基礎～



世界中から**約1,600万品**の
品揃え（約**600**サプライヤー）



常に最先端の試薬を導入し続けて
います。
商品で充足できないニーズには、
受託サービスを提供。

◎豊富な品揃え、その理由は・・・

基礎研究では、

- ・膨大な基礎研究&一人ひとり異なる実験
- ・多様な生命現象を研究するための様々な視点からのアプローチ

どんな研究もサポート
できるよう、取り扱い
試薬はとてまたくさん！

商品情報の管理・発信

◎ 1千万品を超える商品の情報を
的確に管理し、発信します



抗体

ペタン商品です
定を示します。

種由来 (免疫動物)	メーカー	品番	包装	希望販売価格(¥)
文産性	クローン	カタログ掲載情報	樽装度	在庫 (入荷予定)
適用			毒劇	保存
ospho Tyr536 . - (Rabbit) 新品	CAC	TNL-002-SH2	100 UL	40000
			Serum	無 (無)
		WB/ IHC/ IP		-20℃
(Rabbit) 新品	CAC	TNL-002-SH1	100 UL	40000
			Serum	無 (無)
		WB/ IHC/ IP		-20℃
Anti CAMKII . - (Mouse) 新品	CAC	TNL-001-CAM	100 UL	40000
	18		Asc	無 (無)
				-20℃



学会・展示会

商品情報／検索システム



ニュースレター



カタログ類

たくさんの商品から、どうやって選ぶの？

◎ 仕入先のシーズをデータベース化し、
研究者にとって有用な商品情報をタイムリーにお届け

[ニーズとシーズのマッチング]

技術はあるけれど
営業力が…
宣伝費もない…

何かいい試薬が
ないかな…



商品
1社1社から探す
時間があったら
実験したい…



商品仕入れ・商品管理のノウハウ

◎ ライフサイエンス用試薬ならではの、
煩雑な輸入手続き、保管・管理手続き

煩雑って、
どうして？

特別な保管が
必要？

試薬とは：

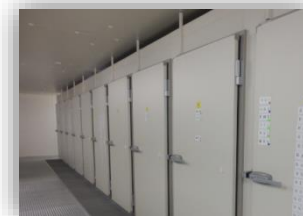
化学物質や、生物の体内から取り出した成分（タンパク質や細胞、核酸等）など。 だから・・・



- 毒劇物など危険物質が入っている場合
→ 法令で取り扱いが厳しく定められている
- 動物由来成分が入っている場合
→ 動物検疫をうける対象となる



- ナマモノだから、温度管理が厳重（4℃、-20℃、-70℃・・・）
- 危険物質は法令に沿った管理が必要



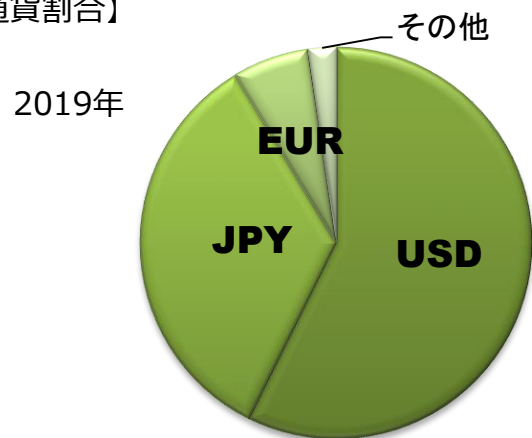
為替変動による利益への影響

- ✓ **円高**では仕入原価・コスト安で、**利益に貢献**
 (円安はその逆)
- ✓ 為替予約により為替変動リスクを軽減
- ✓ 為替差益/差損を営業外に計上するため、経常利益を経営指標として管理

【平均為替レート（年間）の推移（円/ドル）】

2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年 上期
121円	111円	112円	110円	109円	108円

【仕入れ通貨割合】



決算短信より

為替による影響が出るところ	売上高
	売上原価
	売上総利益
	販売費及び一般管理費
	営業利益
	営業外収益
	受取利息
	有価証券利息
	受取配当金
	為替差益
助成金収入	
投資事業組合運用益	
その他	
営業外収益合計	
営業外費用	
支払利息	
投資事業組合運用損	
長期前払費用償却	
デリバティブ評価損	
その他	
営業外費用合計	
経常利益	
特別利益	

本日の内容

①

- ✓ コスモ・バイオは、今年で設立37年のバイオ(ライフサイエンス)の専門商社です
 - ✓ 研究用の試薬・機器などを販売しています
 - ✓ お客様は、大学や公的研究機関、製薬企業等の研究者です
- 「メーカー機能」について
- 占め、円高だと利益に貢献します

②

- ✓ 2006年からは、試薬の自社製造も開始しました
- ✓ 2016年からは、試薬以外の新規分野にも挑戦しています

③

- ✓ 商社を軸に、新規事業開拓に取り組んでいます

④

- ✓ 会社設立以来、赤字になったことはありません
- ✓ 上場来、毎年配当しています(株主優待はありません)

なぜ商社がメーカー機能を？

【当社の変遷】

1983年

石油会社の子会社として誕生

2000年

独立

ライフサイエンスを
専門に学んだ
人材を採用

専門性の高い製品情報提供や、
自社製品、自社サービスを提供



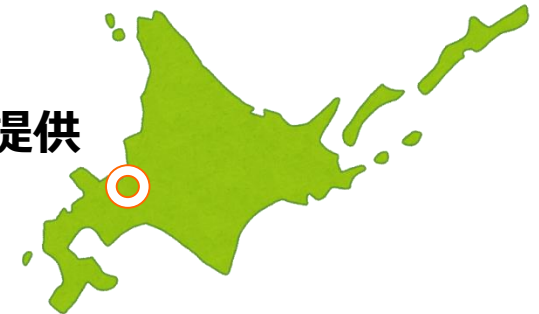
メーカー機能を持つことで・・・

ユーザーソリューションの提供

- ・ 市場にない（付加価値の高い）研究用試薬を製造して提供
- ・ 自社技術を用いた受託試験サービスを提供

会社の成長・挑戦

- ・ 自社製造のため為替に左右されず利益が安定
- ・ **新たな事業領域を獲得し、事業規模を拡大**



2017年10月 札幌事業所稼働
 今後のさらなる事業の拡大に備えるため、開発・製造拠点の統合・拡張を実施。



商社事業を主軸に、メーカー機能を取り入れ

- ✓ 商社事業を軸に、2006年から**メーカー機能**を取り入れて自社製品・サービスの開発に取り組んでいます
- ✓ 開発・製造拠点は北海道小樽市 **(札幌事業所)** です
- ✓ 札幌事業所で行っている事業は、大きく分けて次の3つです
 - ① 初代細胞ほか試薬製造・受託試験
 - ② **カスタムペプチド合成&抗体作製**
 - ③ **ゲノム編集ニワトリを用いたタンパク質製造**
(鶏卵バイオリクター事業)

新規事業
2016年より



札幌事業所の外観

初代培養細胞ほか、研究試薬

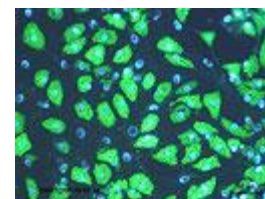
初代培養細胞とは

生体から分離した細胞を培養し、第1回目の継代を行うまでの細胞。

細胞は継代を繰り返すことでその性質が変化することがあるため、初代培養細胞（プライマリーセル）を用いることで、より実際の細胞に近い状態で実験することができる。



たとえば、薬剤の研究開発等に使われます



脂肪細胞と専用培地

《製造品目》



カスタムペプチド合成&抗体作製

何を作っているの？

- 研究者の要望にあった配列のペプチドをカスタム合成
- このペプチドを材料（抗原）とした、抗体作製の受託サービスもあわせて展開



ペプチド合成装置



【ペプチドの役割の例】



ペプチドを使った
基礎研究



薬効のある
ペプチドの探索



ペプチドを抗原とした**抗体作製**

機能性ペプチド
(機能性食品、
抗菌ペプチド)

新薬
(ペプチド医薬品)

新規治療法
(ワクチン)

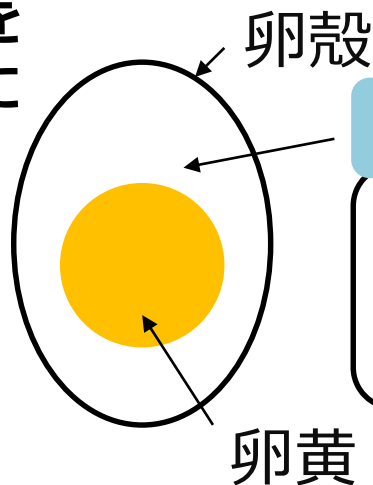
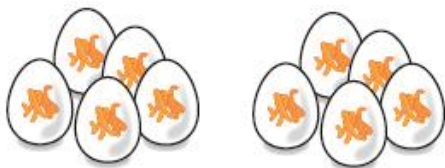
私たちの生活レベルの向上に貢献！

ゲノム編集ニワトリを用いたタンパク質製造

～目的とするタンパク質を、安く大量につくる～

◎鶏卵バイオリクターを用いたタンパク質製造

ゲノム編集によりニワトリを
改変し、たまごの卵白部分に
有用タンパク質を大量に
含んだ**たまご**を生ませる
技術



卵白

- オボアルブミン 2.2g
- オボトランスフェリン 0.5g
- オボムコイド 0.5g
- リゾチーム 0.15g

ゲノム編集して、
オボアルブミンの
代わりに
有用タンパク質を
作る

ゲノム編集ニワトリを用いたタンパク質製造



◎ 技術の特徴

1

ココが
すごい!

ニワトリに着目したこと

従来の培養細胞によるタンパク質製造には、装置(プラント)だけでも数十億円ともいわれるような設備投資が必要なんだ。でも、**培養細胞の代わりにニワトリのたまごを使う**という方法を見出したことで、いわゆるプラントは不要。加えて、ニワトリは繁殖力が高く、生産管理も容易であるという、管理面の優位性もある。

2

ココが
すごい!

ニワトリの遺伝子改変の成功

ニワトリの受精は卵管の奥深くで起こるため、多くの動物と同様のゲノム編集技術を使うことができない。そこで、受精卵ではなく、**始原生殖細胞(成熟すると精子や卵子になる細胞)を遺伝子改変し、別のたまごに移植**することで、目的タンパク質の遺伝子を持つニワトリをつくることに成功したんだ*。

* 産総研、農研機構の特許技術(一部出願中)

3

ココが
すごい!

ニワトリたまごの可能性

目的タンパク質の低コスト・大量生産技術の確立により、今後、**多くの市場ニーズが顕在化**され、活用が広がっていくことが期待される。

医薬品

化粧品

医薬部外品

日用品

動物用医薬品

産業素材

診断薬



など

◎ 試薬製造と原料製造の違い

	使用量	使用領域	グレード
試薬	数マイクログラム～数ミリグラム (ごく微量)	基礎研究	研究用試薬グレード
原料	数百グラム～数十キログラム (それ以上になることも)	実用化研究	より厳しいグレードが求められる

メーカー機能の向かう先

◎ご紹介した自社製品・サービスを振り返ると・・・

①初代細胞ほか試薬製造・受託 試験	市場にない試薬・サービスを提供する ⇒ 研究用試薬、サービスの充実
②カスタムペプチド合成& 抗体作製	研究用の提供もありつつ、原料としての提供など、 研究用から一步踏み出した製造・サービス
③ゲノム編集ニワトリを用いた タンパク質製造 (鶏卵バイオリアクター事業)	研究用試薬ではなく、 原料供給を主な目的とした製造

研究用試薬だけでなく、原料としての製造など、ライフサイエンスをもっと広くサポートするべく、新たな技術を導入してきました。

本日の内容

①

- ✓ コスモ・バイオは、今年で設立37年の
バイオ（ライフサイエンス）の専門商社です
- ✓ 研究用の試薬・機器などを販売しています
- ✓ お客様は、大学や公的研究機関、製薬企業等の研究者です
- ✓ 輸入商品が売上の多くを占め、円高だと利益に貢献します

②

成長戦略について

- ✓ 2006年からは、試薬の自社製造も開始しました
- ✓ 従来の分野以外の新規分野にも挑戦しています

③

- ✓ **商社を軸に、新規事業開拓に取り組んでいます**

④

- ✓ 会社設立以来、赤字になったことはありません
- ✓ 上場来、毎年配当しています（株主優待はありません）

ビジョン

生命科学の研究者から信頼される
事業価値を高める

事業戦略

1

新たな事業基盤の
創出

2

商社機能の
強化

2

製造機能の
強化

3

企業価値の向上

目指す姿・目標

～10年後を見据えた事業戦略

研究試薬卸売(現収益の柱)に加え、第二(製造業?第一になり得る)の成長の柱をつくる!

ライフサイエンスをベースに、研究試薬以外の市場へも!

安定した持続的成長を実現する企業に!

1

新たな事業基盤の創出

新規事業の開拓

シーズ探索強化、産学官連携への積極参画

資本提携・業務提携への取り組み

2

商社機能の強化 (提案力・情報力・商品力)

顧客情報管理とその活用

原料供給ビジネスの売上拡大

流通改革対策

2

製造機能の強化

新商品・受託サービスの拡充

抗体・ペプチド合成受託事業、
鶏卵バイオリアクター事業の
成長・収益加速

3

企業価値の向上

生産性の向上と効率化
(収益力の向上)

人事制度・人材育成

鶏卵バイオリアクター事業の事業化の進捗

産総研



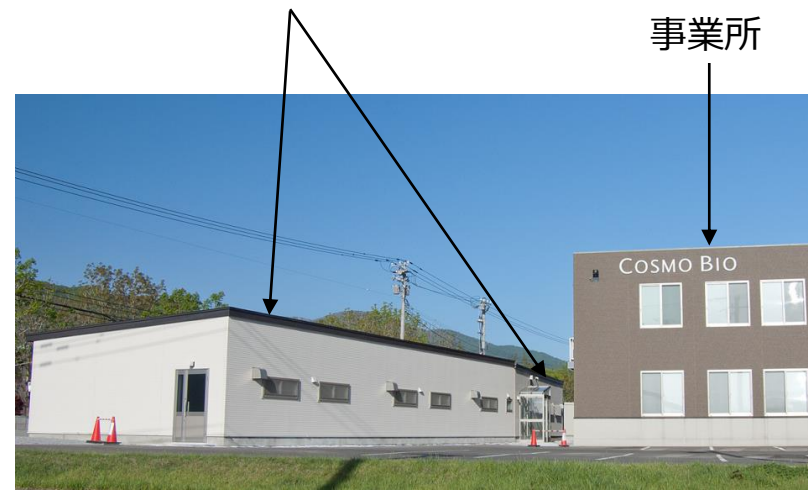
農研機構



コスモ・バイオ

- 2015年 ・産総研・農研機構との共同研究開始
- 2016年 ・NEDOプロジェクト
- 2017年 ・鶏舎建築
・ヒトインターフェロンβ製造における特許実施許諾
- 2018年 ・JSTプロジェクト
- 2019年 ・鶏舎増築
・ヒトインターフェロンβ製造に限定しない特許実施許諾
・新たなゲノム編集方法の採用（国内企業特許技術）
・受託製造事業開始

鶏卵バイオリアクター施設



札幌事業所



ニワトリ工場のイメージ

ほしいタンパク質を含んだ
たまごを産む
ニワトリを鶏舎で飼育



鶏舎では毎日、たくさんのニワトリが
たくさんたまごを産み落とす

ほしいタンパク質を取り出し、
医薬など多様な目的に活用



技術のご参考

～「ゲノム編集」「たまごの可能性」を紹介した
記事をご参考ください～

IR情報

ライフサイエンスの世界

[コスモ・バイオ ホームページTOP](#) →
[IR情報](#) → [ライフサイエンスの世界](#)



ライフサイエンスは、私たちの生活を支え、
また経済や社会の発展にも大きく役立つ、身近で大切な技術です。
このページでは、最先端のライフサイエンス技術を
わかりやすくご説明します。



◎ **【第12回】ゲノム編集技術**

◎ **【第19回】たまごの可能性**

本日の内容

- ①
- ✓ コスモ・バイオは、今年で設立37年の
バイオ（ライフサイエンス）の専門商社です
 - ✓ 研究用の試薬・機器などを販売しています
 - ✓ お客様は、大学や公的研究機関、製薬企業等の研究者です
 - ✓ 輸入商品が売上の多くを占め、円高だと利益に貢献します

- ②
- ✓ 2006年からは、試薬の自社製造も開始しました
 - ✓ 2016年からは、試薬以外の新規分野にも挑戦しています

業績・配当について

- ③
- ④
- ✓ 会社設立以来、赤字になったことはありません
 - ✓ 上場来、毎年配当しています（株主優待はありません）

新型コロナウイルスによる事業環境の変化

世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、検査薬、ワクチン、治療薬の開発をはじめ、ライフサイエンス業界が果たすべき役割が注目されている。その中で当社においては、研究現場で使用する消耗品の売上動向を中心に変化が見られた。

■ 第1四半期（1～3月）

- コロナ禍において第1四半期には研究用の器材・消耗品などの購入需要が増加
- 一部海外からの商品仕入れが停滞したが、影響は限定的

■ 第2、第3四半期（4～9月）

- 消耗品等については、一部の商品について一時的に世界的品薄状態
- 緊急事態宣言解除後はユーザーである大学や企業の研究所が活動を再開しはじめ、試薬の消費も再開されつつある



当社の新型コロナウイルス感染拡大防止対策

在宅勤務へのシフトも大きな問題等なく、緊急事態宣言下においても事業活動への影響は最小限で乗り越えることができました。

従業員向けの感染防止対策

- 2月28日以降、全社に対し在宅勤務を推奨
- 一部出社が必要な業務従事者に対しては、
 - ・ 出社可能人数を制限し、2メートル以上の距離を置く配置を提示
 - ・ 交通機関の混雑時間帯を避けるため、営業時間の短縮を実施
 - ・ 時差通勤の推奨
 - ・ 入室時の検温、アルコール消毒
 - ・ ドアノブ、複合機、ボタン等消毒（1日4回）の継続
- 感染拡大防止手当の支給

事業継続のための対策

- 従来より、ノートPCやiPhoneの貸与、VPN接続によるリモートワーク等の環境を整備していたことが効を奏し、短期間で在宅勤務に移行ができた（一部出社が必要な業務を除く）
- オンライン商談のための環境整備（出張営業活動の自粛）

連結損益計算書

(金額単位：百万円)

	2019年 Q3累計	2020年 Q3累計	前年同期比 増減
売上高	5,595	5,826	4.1%
売上総利益	2,157	2,286	6.0% 注1
販管費	1,801	1,670	△7.3% 注2
営業利益	355	616	73.1%
経常利益	391	676	72.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	259	575	121.8% 注3

注1 売上増に伴う利益増の結果、粗利は38.6%から39.2%へと上昇

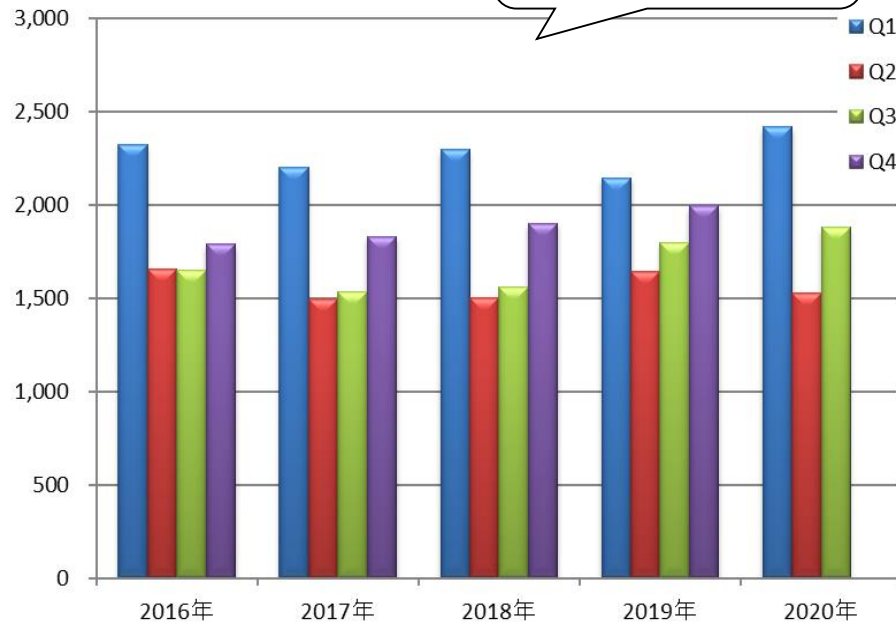
注2 コロナ禍での営業活動の一部自粛等による販管費減

注3 Q1での投資有価証券売却益（特別利益）の計上 +190百万円

四半期別動向（売上高、経常利益）

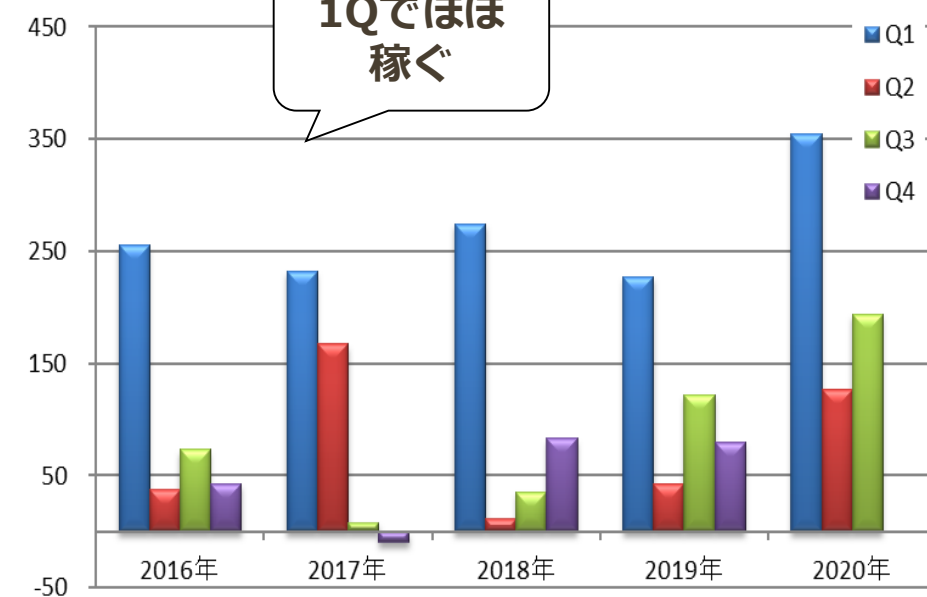
売上高

(百万円)



経常利益

(百万円)



【売上高】従来の四半期別売上高の傾向は、Q1で最も多く、Q2以降階段状に上がってくるパターン。

近年は政府予算の一部繰り越しができるようになり、この傾向も緩やか。

【経常利益】従来の四半期別経常利益の傾向は、Q1で最も利益を稼ぎ出す構造。

※2020年のコロナ禍においてはこの傾向となるかは不透明

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う 業績見通し

新型コロナウイルス感染症の拡大は、世界的な規模で感染者が増加し、社会経済活動に大きな影響を及ぼしています。コロナ禍における当社グループの業績見通しについては、次のとおりです。

- 新型コロナウイルス感染拡大の状況判断は難しいが、国内の消費者である研究者が研究室に戻り、実験・研究が再開されつつあり、当社の需要は戻る傾向。（2020年11月末現在）
- 海外事業をとりまとめている米国子会社（日本以外の全世界への研究用試薬等販売）は、アジア・ヨーロッパでは復調の兆しながら、主要な市場である米国内での消費回復が遅れている。連結決算に影響はない見通し。
- 全体として、下期は新型コロナウイルス感染拡大が改善する基調を背景に、当初想定範囲で進捗できるとの判断のもとに業績予想を作成。

2020年12月期の連結業績見通し

(金額単位：百万円)

	19/12月期 実績	20/12月期 予想	対前年比	
			増減額	増減率
売上高	7,590	7,800	210	2.8%
営業利益	405	590	185	45.5%
経常利益	470	660	190	40.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	237	540	203	126.9%

平均為替レート	19/12月期 実績	20/12月期 予想
円/USドル	109円	110円

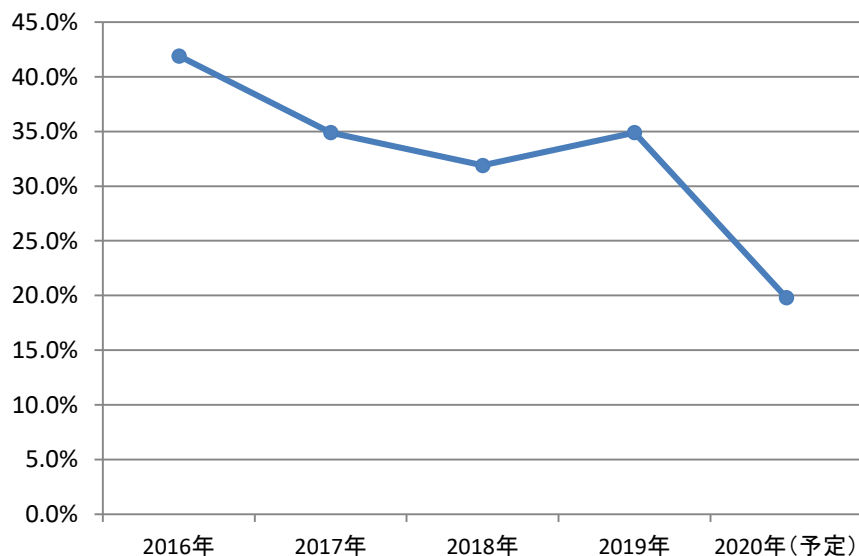
※2020年7月21日公表の業績予想です。

第3四半を終えた時点で各利益が通期見通しを超えておりますが、コロナ禍においての業績見通しが不透明な部分もあるため、業績予想の修正はしておりません。

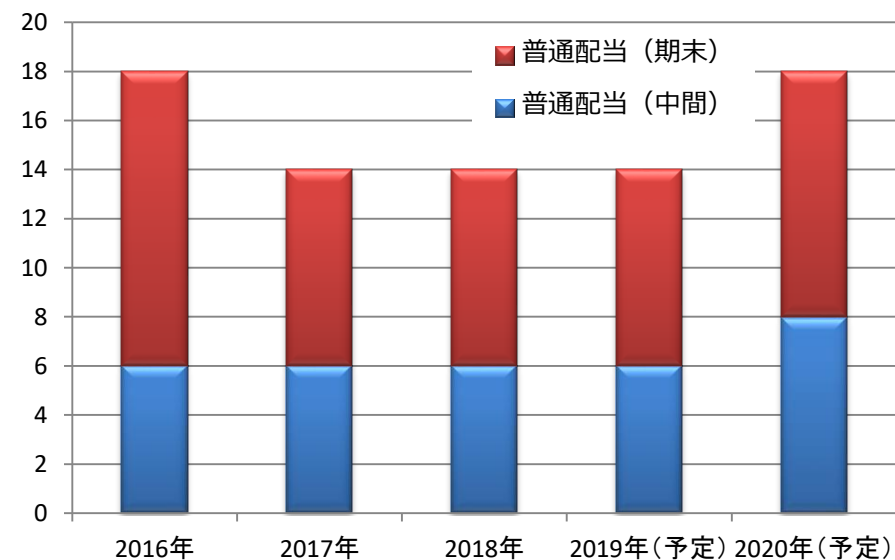
	1株当たり配当額		
	中間	期末	合計
2019年 12月期	6円	8円	14円
2020年 12月期	8円	10円 (予定)	18円 (予定)

2020年度は、増益予想に伴い増配（+4円）を予定しております

連結配当性向の推移



1株当たり配当額の推移



ホームページリニューアルについて

2020年11月24日に、企業サイト・IRサイトをリニューアルしました。

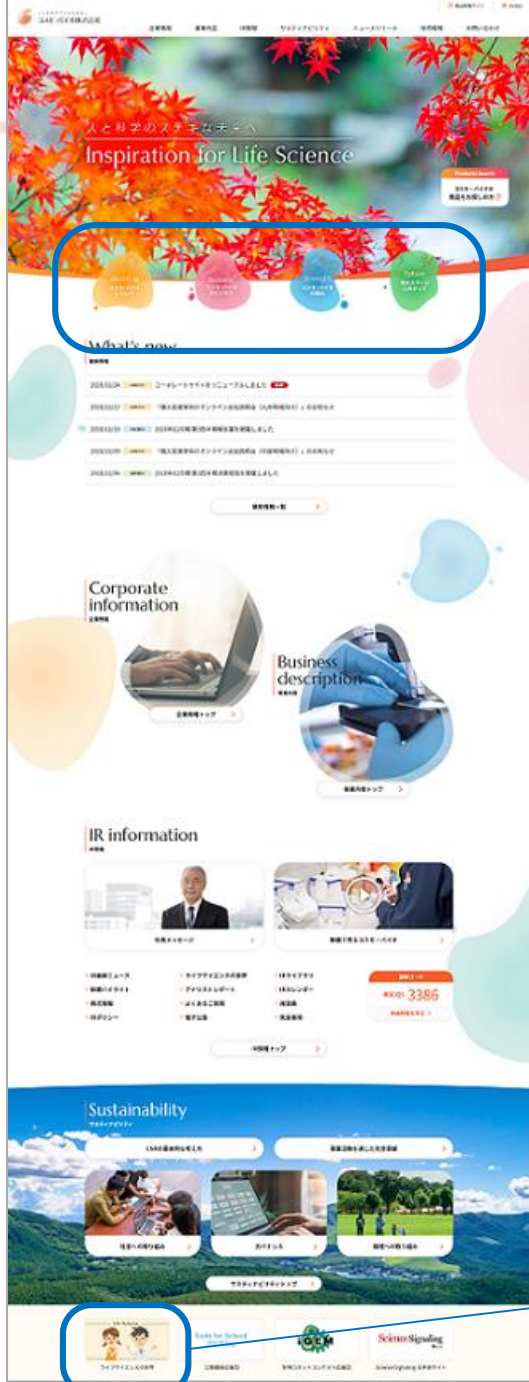
<https://www.cosmobio.com>



PC用



スマホ用



<https://www.cosmobio.com>



コスモ・バイオについてわかりやすく説明した「早わかり」を掲載



サステナビリティのコンテンツを新設



ライフサイエンスの最新技術を紹介

SDGsへの取り組み例

『公開講座応援団』

大学等が行う公開講座に協賛し、ライフサイエンスの面白さと楽しさを伝えるお手伝いをしています



『世界一行きたい科学広場in宗像』

【講座の一例】

『ボランティア活動』

災害復興を目的としたボランティア活動を希望する従業員の支援を行っています。



『iGEM生物ロボットコンテスト 参加日本チームへの支援』

米国マサチューセッツ工科大学で毎年行われている「生物ロボット」コンテストに参加する日本の大学チームを、資金援助を通して応援しています

『北海道大学』

【参加された
チームの一例】



『Science Signaling』

米国科学振興協会が発行する“Science Signaling”の日本語サイトを当社ウェブ上で運営しています





人と科学のステキな未来へ コスモ・バイオ株式会社

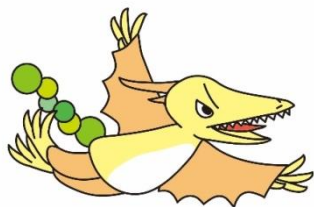
《IRに関するお問い合わせ先》

コスモ・バイオ株式会社 総務部

ir-contact@cosmobio.co.jp

《当社IRサイト》

<https://www.cosmobio.com/jp/ir/>

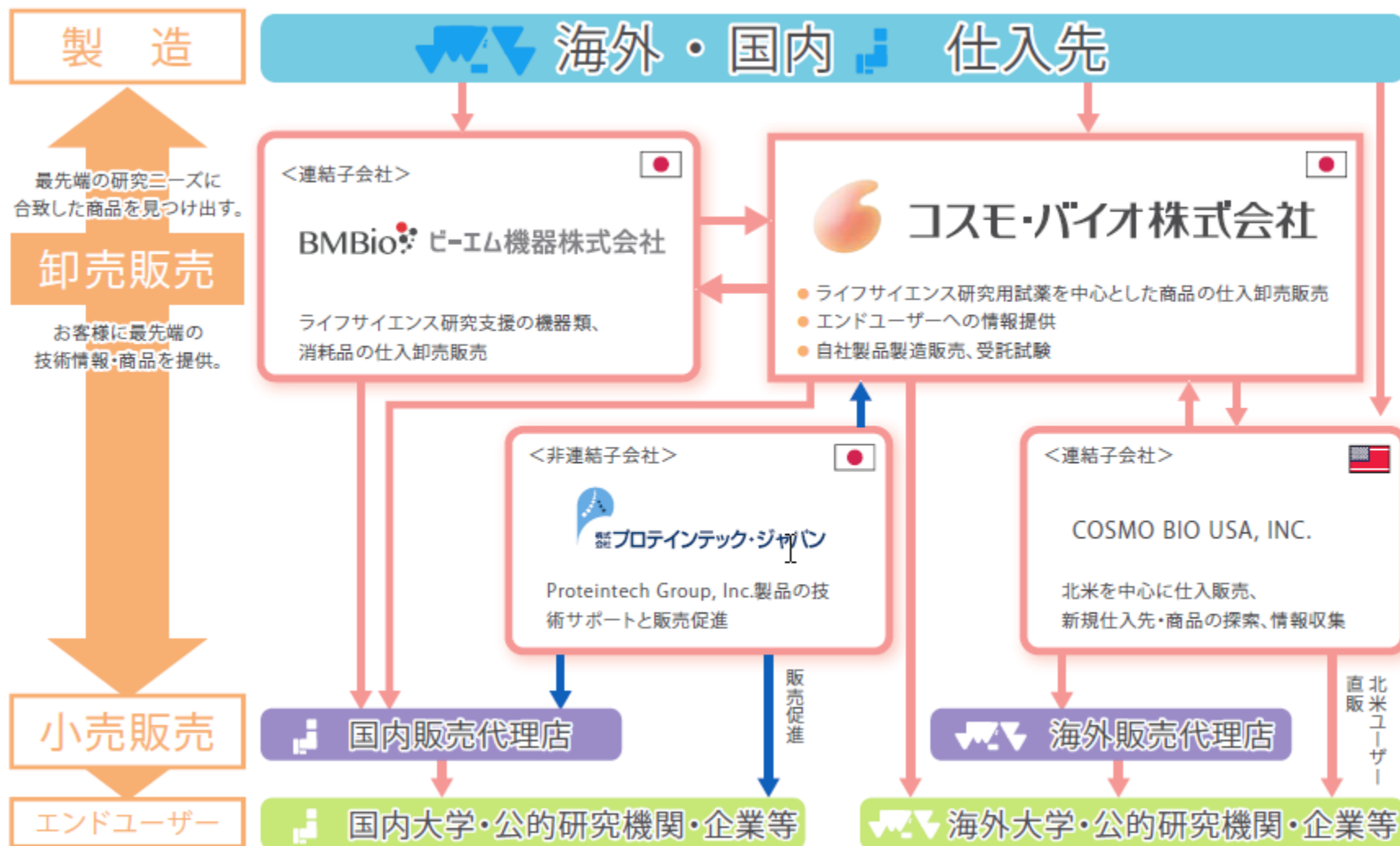


主な連結経営指標等の推移

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
売上高(百万円)	7,357	7,427	7,068	7,261	7,590
経常利益(百万円)	373	483	397	403	470
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	230	254	237	260	237
純資産額(百万円)	6,378	6,581	6,838	7,053	7,321
総資産額(百万円)	7,790	7,934	8,126	8,485	8,890
1株当たり純資産額(円)	1,003.87	1,034.90	1,076.35	1,110.06	1,154.32
1株当たり当期純利益(円)	38.89	42.93	40.15	43.93	40.14
自己資本利益率(%)	3.8	4.2	3.8	4.0	3.5
総資産経常利益率(%)	4.7	6.2	5.0	4.9	5.4
株価収益率(倍)*	27.6	29.2	27.9	20.0	26.1
配当金額(単体)(円)	16	18	14	14	14
配当性向(連結)(%)	41.1	41.9	34.9	31.9	34.9
純資産配当率(連結)(%)	1.6	1.8	1.3	1.3	1.2

* 株価は12月期の末日終値

グループ会社

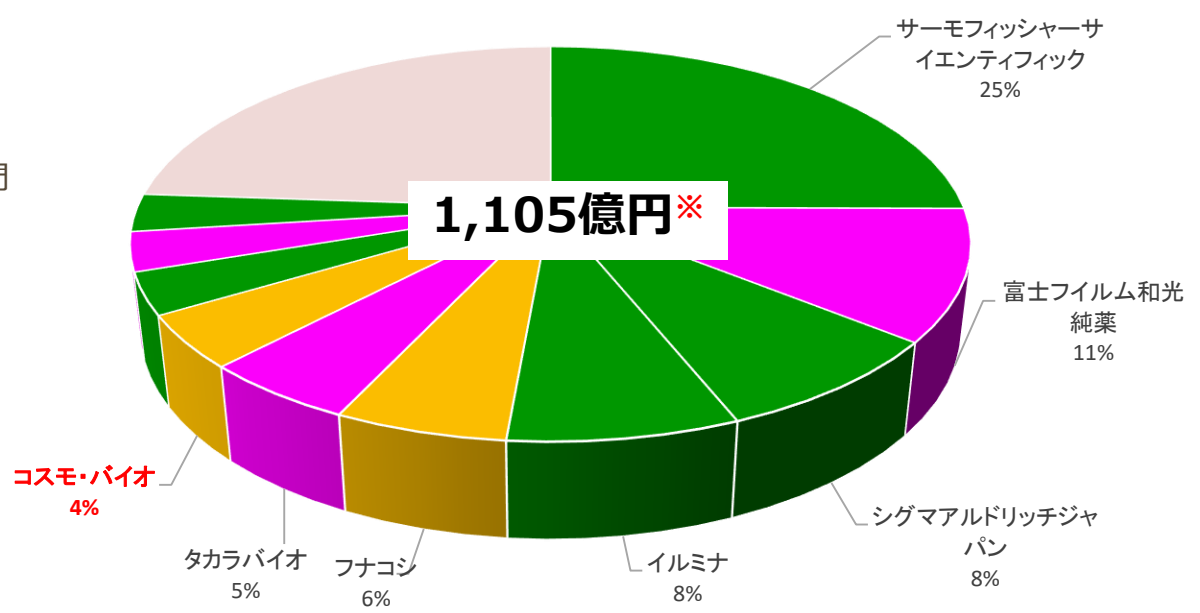


ライフサイエンス研究用試薬の市場規模

◆ 競合会社のパターン ◆

- 1 海外企業の日本法人
- 2 大手企業の子会社・部門
- 3 商社

※ 矢野経済研究所調べ
(2018年)



市場の特徴 :

- ✓ **毎年 2 ~ 3 % の伸び**
 - ・ 基礎研究市場は政府予算に左右されやすい
- ✓ **ニッチな市場、かつ参入障壁は高い**
 - ・ 動物検疫ノウハウ (生物由来成分が含まれるため)
 - ・ 毒劇物・薬物・危険物・遺伝子組換え物質等法規制対応が必要
 - ・ 有機溶媒など廃棄規制対応が必要
 - ・ 適切な温度管理が必要 (試薬の多くがタンパク質や核酸・細胞など、生物由来の物質 (= ナマモノ))